

第2回 平和教育 連続講座

「継承」を考える

<講座趣旨>

戦後、そして被爆81年を迎える今年、改めて「継承」とは何かについて考えていきたい。戦争体験や被爆体験の継承において、誰の、どのような語りが社会に取り込まれてきたの。話題提供者2名は、これまで実践と研究というフィールドで「継承」について取り組まれてきた方である。それらの話題をもとに「被爆体験の継承」、「戦争体験の継承」という考え方について批判的に捉え直すことを試みる。参加者とともに「継承」について議論してみたい。

- 14:00-14:10 本講座趣旨
- 14:10-14:45 高橋氏による話題提供 (35分)
- 14:45-15:20 平林氏による話題提供 (35分)
- 15:20-15:30 休憩
- 15:30-16:05 グループでの議論・対話
- 16:05-16:25 全体での質疑応答・感想交流
- 16:25- クロージング

日時: 2026年10月11日(日) 14:00~16:30

(イベント終了後会場を17時まで借りております。参加者同士の交流にお使いください。)

場所: 広島大学きてみんさいラボ(広島駅横JPビル内2階)

方法: 対面・オンライン同時開催

話題提供者① 高橋悠太

(一般社団法人かたわら 代表理事
/核廃絶ネゴシエーター)

平和をつくる人を育てる~2024年日本
被団協ノーベル平和賞授賞!ユース世代
の核なき世界へのアクションとSDGs~

広島・福山に生まれ育つ。
慶應義塾大学法学部卒。広島
と横浜の2拠点生活。
共著に『ハンセン病問題
から学び、伝える』
(清水書院)。



話題提供者② 平林千奈満

(長崎大学核兵器廃絶研究センター
特任研究員)

長崎における地球市民教育の分析ー主と
して社会教育の視点からー

長崎大学核兵器廃絶研究センター
(RECNA) 特任研究員。2026年4月か
ら広島市立大学平和学研究科博士
後期課程に在学中。2000年長崎
市生まれ。被爆3世。長崎市内で
小学校教諭として勤務した後に現職。



<事前登録>

参加をご希望の方は、下記URLより事前登録をお願いいたします。

<https://forms.gle/tAmfMLFxNnLXwFJQ9>

主催 JST 次世代研究者挑戦的研究プログラム 亀井恭祐

連絡先 広島大学大学院 人間社会科学研究科 亀井

アドレス kamekamedurms1009@gmail.com

